

留学先での滞在形態について

立命館大学提供の留学プログラムに参加した場合、滞在形態は、①ホームステイ、②大学寮、③現地のアパートなど、の3つのパターンがあります。プログラムによって滞在形態は異なりますので、各プログラムページでご確認ください。

なお、いずれの滞在形態をとっても「メリット」・「デメリット」は存在します。はじめのうちは慣れないことも多くストレスを感じることもあると思います。ですが、その問題1つ1つに、自分の成長の糧となるエッセンスが凝縮されています。問題が生じた場合は貴重な成長機会と捉え、まずは自分で解決に向けて現地のプログラム担当者と相談し解決するように努めてください。

Point

ホームステイについて

ホームステイとは、現地のファミリーと生活を共にし、習慣や文化を学ぶものです。滞在費用は支払いますが、決してホテルのようにサービスを一方的に受けるものではありません。ホームステイを通して、多様な文化的背景を持つ家族と、家族内の習慣に基づいて生活をしていくことになります。決してお客様ではないということを念頭に置き、行動しましょう。

また、ホストファミリーの家族構成、人種や宗教等も家族毎に異なります。多様な背景を持つホストファミリーとの生活は、本当の意味での国際経験を積むことができます。

また海外では、多くの家庭において食事は一般的に日本に比べると簡素で種類が少ないことを、予め念頭に置いてください。野菜が少ない、冷凍食品ばかりである等の意見の中にはありますが、基本的には家族に合わせて生活する姿勢が必要となります。ただし、どうしても馴染まないという場合は、自分の希望をきちんと伝えるようにしましょう。

